

～ひとりで悩まないで～

# 子どもの発達を支える「すきっぷ」

言葉がゆっくり、真似ができない、行動の切り替えが難しいなど、子どもの発達に関する悩みはありませんか。児童発達相談センター「すきっぷ」はそんな不安や悩みを気軽に相談できる場所です。今月は、開設10周年を迎えた「すきっぷ」の取り組みや利用者の声などを紹介します。

**問合せ** 児童発達相談センター「すきっぷ」  
☎048 (486) 5511

## こんなことに悩んでいませんか？

### 生活面

- ・手先が不器用
- ・特定の音が苦手

### コミュニケーション

- ・友達に興味がない
- ・遊びなどにこだわる

### 行動面

- ・落ち着きがない
- ・順番が守れない

## 子どもの発達に関する不安は「すきっぷ」にご相談を

総合福祉センター3階にある児童発達相談センター「すきっぷ」では、市内に住む18歳未満の子どもとその家族を対象に、子どもの発達に関する心配ごとや気になることの相談を受け付けています。子どもの発達には個人差があるため、専門職や関係機関と連携しながら、一人ひとりの成長段階に応じた切れ目のない支援を行っています。

すきっぷの名称は開設時に公募し「Shiki (志木) のKids (子どもたち) とParents (両親)」の頭文字からSkip (すきっぷ) と名づけられました。「明るく軽やかなイメージで気軽に相談センターを訪ねてほしい」という思いが込められています。

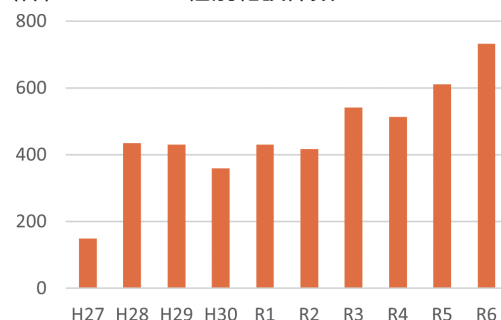
**相談日** 月～金曜日 (祝休日は休み) 8時45分～16時30分

## 専門相談支援

専門職による個別相談件数は増加傾向にあり、開設から10年間で2,000人以上の相談を受けてきました。令和3～5年度の相談内容では「言葉に関すること」が58.6%を占めており、家庭内で気づきやすい悩みの一つとなっています。

子どもの成長には個人差があり、特に年齢が低い時期ほど、一人ひとりの発達の特徴が大きく表れます。「言葉がゆっくり」「落ち着きがない」など、気になることや心配なことがあれば、一人で悩まず、まずはお気軽にすきっぷへご相談ください。

(件) 個別相談件数



## 専門相談員がサポートします

### 小児科医師

子どもの発達が気になるとき、保護者のお話をていねいに伺い、発達の状況をわかりやすく説明します。必要に応じて、発達検査をもとに医学的な見地からアドバイスを行うほか、専門的な診断や支援が必要と判断した場合には、適切な医療機関などへつなぎます。子どもと保護者が安心して歩んでいけるよう、今後の支援や対応をいっしょに考えます。

### 公認心理師

公認心理師は「こころ」に向き合う専門職です。心理や発達の専門的な知識を使いながらその子が持つ力や取り巻く環境を読み解き、こころへの理解を深めていきます。

また、心理相談では保護者から子どもへの想いを伺うことを大切にしています。「発達が心配」「接し方に悩んでいる」「園に行きたがらない」「療育が必要かわからない」といった困りごとに対して、幼稚園や保育園などの巡回・観察・検査を通して、子どもの課題を整理し、今後の見通しを伝えられるよう心がけています。子育ては思うようにいかないことばかりですが、できることからいっしょに考えていきましょう。



### 作業療法士

作業療法士は、運動機能や日常生活動作の発達を支援する専門職です。積み木やボールなどの遊びを通じて、体の動かし方や感覚の受け取り方、言葉の理解の仕方、人との関わり方を観察し、得意なことを引き出しながら一人ひとりに合わせた支援を行います。体の使い方、身の回りのこと、学習面、行動面、コミュニケーションについて気になることがあれば、ぜひお気軽にすきっぷへお越しください。保護者が安心し、笑顔で子どもの心と体を育てていけるようサポートします。



### 言語聴覚士

「まだ『ママ』と言えない」「白いものしか食べない」など、子育ての不安を一人で抱えていませんか。子どもの発達には個人差があり、成長のスピードも一人ひとり異なります。

言語聴覚士は、ことばや発音、聞こえに関する相談をはじめ、食べ方（偏食、丸飲みなど）や「なめらかに話せない」「家の外で声が出せない」といったさまざまな心配ごとに寄り添い、対応方法をいっしょに考えていきます。頼れる人が多いほど子育ては安心できるため、少しでも気になることがあればお気軽にご相談ください。



## すきっぷの事業紹介

### 個別相談

小児科医師、公認心理師、作業療法士、言語聴覚士などの専門職による個別相談です。子どもの状況に応じた助言や支援先などを紹介します。

### おひさま広場

未就学児を対象に、子どもと遊びながら親同士で話をしたり、専門職に相談ができます。

### グループ支援

1歳頃から就園前の子どもを対象に親子で自由遊びや課題遊びを行い、子どもの成長を応援します。

### 言語講座

子どもの言葉の発達段階に合わせた声かけや関わり方のヒントを言語聴覚士がお伝えします。



### 巡回相談

専門職が幼稚園や保育園、子育て支援センターなどを巡回し、家族や職員への支援を行います。

## 5歳児健診フォローアップ事業を実施しています！

子どもの健やかな成長と発達を見守るため、令和8年度から5歳児健診がはじまりました。すきっぷでは、5歳児健診の結果、支援が必要と認められた子どもと保護者に対して、健診後のフォローアップ事業として専門職による相談や講座などを実施します。今後の学校生活を視野に、保護者の不安軽減に向けて、関係機関と連携しながら下記の3つのサポートを行っています。

### 1 新1年生に向けての講座～入学に向けて今からできること～

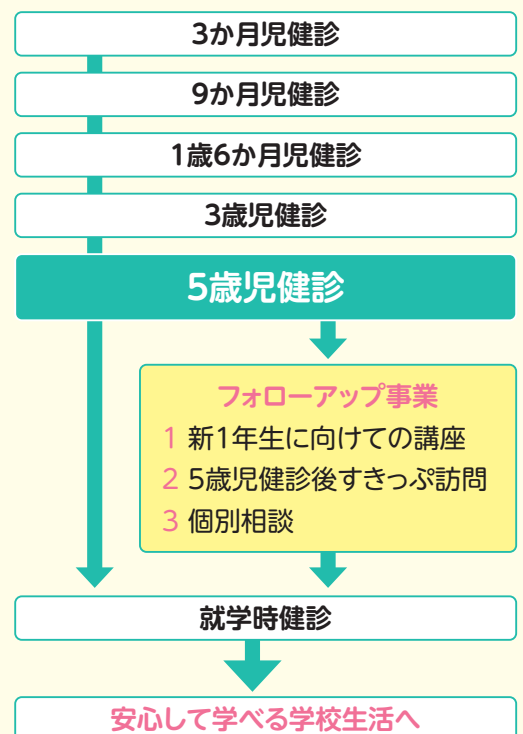
5歳児健診受診後の保護者向け講座です。「学校ってどんなところ?」「入学前にどんな準備ができるかな?」「困ったときは?」をテーマに、学校生活のイメージづくりや作業療法士によるミニ講座を行います。

### 2 5歳児健診後すきっぷ訪問

自身の子どもが幼稚園や保育園などでどのように集団生活を送っているかについて、希望に応じて専門職が施設を訪問し、直接様子を伺います。その様子を保護者と共有し、健診での様子も踏まえて個別相談で子どもの状況に応じた情報提供を行います。

### 3 個別相談 (随時)

小児科医師、公認心理師、作業療法士、言語聴覚士による個別相談を予約制で行います。



## すきっぷの利用者の声

すきっぷ利用者にアンケートを実施し、いただいた声を一部抜粋して紹介します。

### すきっぷ利用前はどんな不安がありましたか



- 年齢相応の単語や二語文などが話せず、言葉の発達に不安があった。
- 一人遊びが多く、集団になじめているか気になっていた。
- 場面の切り替えが苦手で、楽しく園での生活を送れるか心配だった。



### 利用してみてどんな変化がありましたか

- 健診ですきっぷを紹介してもらい、漠然とした不安でも相談ができて、前向きに育児に取り組めるようになった。
- 個別相談で子どもの得意なことや不得意なことへの理解が深まり、声かけや対応を変えることができた。
- 親子クラブで近い年齢の子といっしょに遊ぶことができ、子どもも楽しく通えた。

### 嬉しかったことや印象に残っていることはありますか



- 子どものちょっとした成長がとても嬉しい。
- 苦手なことにも頑張って取り組み、子どもが少しずつ成長してきている実感が得られた。



### 同じ不安を抱えている保護者の皆さんへ

- 少しでも不安に思うことがあったら相談してみると、かわいい子どもと笑って過ごせる時間が増えると思います。
- 同じ悩みを抱えている人と話すと気持ちが楽になれるのでぜひ利用してみてください。
- 一人で悩むより、具体的なアドバイスや支援方法をもらえて、相談してよかったと思えます。

## 一人ひとりに寄り添う支援へ



大正大学名誉教授  
小児科医

なかむら たかし  
中村 敬 さん

すきっぷで小児科医として支援を行う中村先生にお話を伺いました。  
2004年に「発達障害者支援法」が成立し、全国で児童発達支援の取り組みが広がりました。その頃、志木市でも発達に課題を抱える子どもの相談が増える一方で、判断基準のばらつきなどにより、適切な支援につながりにくい状況が見られました。

こうした背景から、多職種が連携して子どもの発達を総合的に支える体制づくりが進められ、子どもの発達に特化した児童発達相談センター「すきっぷ」が設立されました。開設から10年を迎えた現在も、個別相談や巡回相談を通じて、子どもたちと保護者に寄り添った支援が続けられています。

また、これまで公的な乳幼児健診は3歳児健診が最後であり、その後に見られる発達の課題に気づかないまま就学を迎えるケースも課題となっていたことから5歳児健診が提唱され、志木市でも令和8年度から実施されています。

5歳児健診の結果、支援が必要と認められた場合は多職種で親子に寄り添い、就学及びそれ以降も身体・精神・社会性の視点で総合的に支援を行うことが大切です。

今後もすきっぷを中心に子ども一人ひとりに寄り添う切れ目のない支援体制の構築を期待しています。